

平成26年8月20日広島土砂災害緊急事業が「土木学会技術賞」受賞！

平成26年8月に広島市安佐南区、安佐北区で発生した大規模な土石流災害に対して、国が実施した応急対策、40基の砂防堰堤整備等が土木技術の発展に貢献、社会の発展に寄与した画期的なプロジェクトとして「土木学会技術賞」を受賞しました。

【技術賞受賞までの経緯】

- ① 水島土木学会中国支部長が技術賞候補として推薦(R4. 1)
- ② 技術賞候補事業として事業説明資料提出(R4. 2)
- ③ 表彰委員会にて当事業が技術賞内定(R4. 4. 1)
- ④ 理事会で受賞者を正式決定(R4. 5.13、16日記者発表)
- ⑤ R3土木学会表彰式(R4. 6.10予定)



〈借地により道路拡幅や
離合帯設置〉

狭隘な市道を工事車両
が通行する場合



〈ソイルセメントに改良し砂防
堰堤内部材に採用〉

大量に掘削残土が発生し
工程・周辺環境へ影響大



〈短期・集中作業として残存型
〆杭を採用〉

堰堤施工時の足場設置に
時間を要する



〈施工の効率化を目指し積極的
にICT建機を採用〉

作業ヤードが狭く複雑な
土工作業

【「短期間」で「集中的」に整備するための取り組み】

迅速・安全に応急対策を実施するため、道路啓開実施後に土石流警報装置を設置し、**強靱ワイヤーネットの設置を平成27年7月末には完了**させたことで、土石流に対する住民の不安を軽減させた。



八木地区の被災状況



道路の堆積土砂撤去状況



土石流警報装置(18箇所)



強靱ワイヤーネット(30箇所)



被災直後の八木地区



砂防堰堤が整備された八木地区

平成26年の被災直後より、土砂災害緊急事業として多くの職員が様々な取り組みに挑戦することで、**令和2年8月までの短期間で砂防施設を完成**させる事ができました。

効果発現



〈土石流発生前(H29.3)〉



〈土石流発生後(R3.8)〉

令和3年8月豪雨により発生した土石流を捕捉した鳥越川1号砂防堰堤